



発行日：令和2年8月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第53回川部会WGを開催しました！

7月28日(火)に第53回川部会WGを新型コロナウイルス対策を徹底した上で開催しました。今年度最初のWGで、これまでの活動進捗報告や今年度の計画、バスツアーの内容の協議等を行いました。また、矢作川直轄管理区間における今年度の事業計画について、情報共有を行いました。

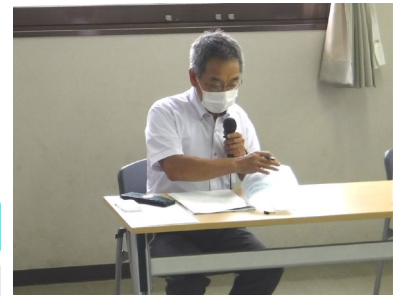


日時：令和2年7月28日(火) 14:00~16:40
会議場所：豊田市崇化館交流館4階 第2会議室
参加者：19名(内オンライン参加3名)※事務局を含む

◆主な会議内容

1. 令和元年度までの活動進捗報告

昨年度まで実施してきた活動について振り返りながら、今年度の活動目標、活動方針について、確認を行いました。



2. 今年度の計画(WG日程の決定)

今年度の活動目標・活動方針をもとに具体的な計画について協議し、以下の計画を実施していくことが決まりました。



◆本川モデル

矢作川本川における土砂移動の仕組みから、「川の形」や「土砂と海のつながり」などについて、溝口先生にお話しいただき、関連する現場の視察を行います。実施日は11月17日、場所は矢作川下流域を予定します。

◆支川モデル

矢作川に土砂を供給している支川を対象に、川沿いウォークを実施します。実施場所の候補は籠川です。川沿いをウォーキングしながら、土砂管理や樹林化、魚道の状況などについて話し合う計画です。実施日は10月13日を予定します。



3. バスツアーの内容について

※7月31日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため順延が決定



市民部会が進めている9月7日~8日のバスツアーについて、川部会が担当する阿摺ダム、明治用水頭首工、安永川トンネル、家下川の内容を協議しました。

【阿摺ダム】

- ・9月7日に実施。見学は阿摺ダムと下流のソジバ、時間は90分程度とする。
- ・解説は、ダム管理について中部電力、ソジバは矢作川研究所にお願いする。

【安永川トンネル】

- ・9月8日に実施。明治用水頭首工とセットとしてとらえ、見学は安永川トンネル出口坑口とする。時間は30分程度とし、解説は豊田市にお願いする。

【明治用水頭首工】

- ・9月8日に実施。安城市を含めた上水の供給源であることを確認する。
- ・時間は30分程度とし、解説は豊田市もしくは土地改良区にお願いする。

【家下川】

- ・9月8日に実施。時間は60分程度とし、内容及び解説者はこれから具体化する。



4. 令和2年度の事業概要(矢作川)について

豊橋河川事務所が令和2年度に予定している事業について、情報共有を行いました。今年度は、洪水氾濫を未然に防ぐ対策として、11件の工事を実施予定です。



◆話し合いでの主な意見 (・意見 ▶回答)

●今年度の計画 (WG日程の決定)

《本川モデル》

- ・「土砂や川の形」の議論を溝口先生に加わっていただいで進めたい。(内田)
- ・講座形式と現地で、溝口先生を主体とした企画をやってみたい。(近藤)
- ・過去に、矢作川中流域の瀬淵構造がある区間で、様々な視点から求めるものを話し合ったが、まずはそれを絵にしたい。矢作川本川の3~4区間で意見を共有し、最終的には土砂管理計画へのリクエストにつながればよい。(鷺見)
 - ▶ 溝口先生には、洪水や土砂収支の観点で、実現可能な形へのアドバイスをいただきたい。(鷺見)
 - ▶ 一度、土砂や川の形の話をして、共通の見方を持った上で議論の場にもっていききたい。現地に行くのであれば、川のつながりについて見てもらいたいのので、明治用水頭首工下流の砂河床の区間がよい。(溝口)
 - ▶ 11月17日の午後に、溝口先生の講義と、現地視察を行う。場所などは後日決定する。(内田)

《支川モデル》

- ・本川に土砂を供給している支川、たとえば籠川なら猿投山あたりからかなりの土砂の流出がある。(近藤)
- ・籠川は猿投山に砂防堰堤があり、魚道も多くあるが、矢作川流域において、比較的自然の土砂移動が残っている。合流している右岸と左岸で川底の色や水生昆虫の生物相が異なる。ぜひ見ていただきたい。(内田)
- ・籠川は、土砂管理や樹林化の問題がある。また、矢作川研究所が、1haほどのピオトープを作っている。(近藤)
 - ▶ 10月13日の午後に、籠川の川沿いウォークを実施する。詳細は、後日決定する。(内田)

●バスツアーの内容について

《阿摺ダム》

- ・発電ダムは、水的な観点、土砂的な観点でどのような管理をやっているのかなどのお話を聞きたい。また上流の矢作ダムと土砂的な観点で異なる点なども聞きたい。(鷺見)
 - ▶ 阿摺ダムをベースに発電所の仕組みや運用について、ぜひ情報を発信したい。(橋本)
- ・阿摺ダムからちょうど1km下流がソジバの現場なので、阿摺ダムとソジバを一つのくくりで考えると、視察は1時間程度を見込む必要がある。右岸側にバスを駐車し、堤体で概要を説明する流れがよい。(橋本)
- ・ソジバの実験区で、川底の蘚苔類の状況に違いがみられるのは左岸側であるが、右岸から移動時間がかかる。(内田)
 - ▶ 左岸に行かずに、実験をやる前と後の写真パネルなどを用意するほうがよい。(近藤)
 - ▶ 阿摺ダムは中部電力、ソジバは矢作川研究所に説明をお願いすることで準備を進める。(内田)

《安永川トンネル》

- ・安永川トンネルに水が流れることにより、都市計画上開発が可能になる。そのあたりの治水上の観点を見る。また、明治用水頭首工とセットであれば、出口のほうを見ることになる。(近藤)
- ・安永川トンネルの出口の形など、魚道の件でいろいろ話をしてきた。川部会としては、何をテーマとするか。(光岡)
 - ▶ 治水、魚の移動経路などをテーマとする。説明は、豊田市にお願いすることで準備を進める。(内田)

《明治用水頭首工》

- ・明治用水にとって安永川トンネルは、明治用水の堰の上流にあるため、堰に溜まる水を減らしてしまう施設となる。この両施設の関係も重要な点。治水や利水などいろんな問題を抱えた場所。明治用水頭首工は、安城市を含めた上水の供給源であることを見てもらうとよい。(近藤)
- ・明治用水への道では、できれば堤防を通過いただき、市街地を浸水から守る施設であることを説明したい。(鷺見)
 - ▶ 明治用水頭首工の説明は、豊田市もしくは土地改良区の方にお願いすることで準備を進める。(内田)

《家下川》

- ・家下川には、矢作川研究所、土地改良区が関わっている。(光岡)
 - ▶ 水田魚道などを作っているのので、土地改良区の位置づけが重要かと思う。(近藤)
 - ▶ 説明は家下川で活躍してきた阿部夏丸さんや、新見克也さんをお願いすることで準備を進める。(内田)

●令和2年度の事業概要 (矢作川) について

- ・鵜の首の河道掘削について、計画案などが固まったら、ぜひ川部会で情報共有していただきたい。(内田)
 - ▶ 川部会で適時説明していく。また、HPでも公表していく。(事務局)

今後の予定

■第54回川部会WG

日時：令和2年10月13日(火) 13:15~16:30 場所：豊田市籠川周辺



◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 佐藤、専門官 竹下、技官 中村
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@iijnet.or.jp) までお送りください。

